



SUSCARE

「ヘルスケア産業支援室 (SUSCARE™)」が2020年4月オープン 化粧品・食品・医療産業を支援

都産技研は、少子高齢化や健康志向の高まりの中、今後の発展が期待されるヘルスケア産業において製品開発を支援するため、2019年4月より「バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業」を開始しました。ヘルスケア産業支援事業の支援メニューおよび事業の拠点となる「ヘルスケア産業支援室 (SUSCARE™)」をご紹介します。

事業概要

ヘルスケア産業の製品開発を支援

本事業は、「美と健康」に関わるヘルスケア産業の活性化のため、「価値がみえる」製品の開発をコンセプトに、化粧品分野を軸に、食品・医療分野の製品化・事業化を目指します。医療材料開発で培った生物工学をベースとした経験と技術を活かした有用性評価系を提供し、都産技研の職員がお客様のご要望にお応えします。

主な支援メニュー

- **依頼試験**
原料および製品の分析・機能性・安定性の評価試験を受託します。
- **機器利用**
SUSCARE™にある装置をお客さま自身でご利用いただけます。
- **研究開発**
動物実験代替試験法を開発し、有用性評価への利用を目指します。
- **海外展開支援**
海外への製品展開を検討するお客様への相談窓口をご用意します。
- **人材育成**
開発製品の適切な評価ができる高度人材を育成するセミナーなどを開催します。



SUSCARE™
開設プレセミナー
および見学会を
開催します

こんな方におすすめ!
ヘルスケア関連企業および新規参入を
お考えの都内中小企業

開催概要
開催日時 2020年3月6日(金) 13時30分～17時(開場13時)
会場 都産技研本部
定員 100名
参加費 無料

ヘルスケア産業支援室 (SUSCARE™)

原料の分析から機能性・安定性の評価まで対応するヘルスケア産業支援拠点「ヘルスケア産業支援室 (SUSCARE™)」を都産技研本部3階に新設し、2020年4月からの運用開始に向けて整備を進めています。製品の開発ステップに応じた機器を導入します。

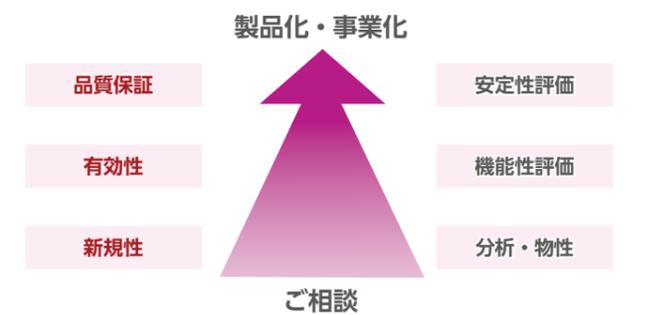
SUSCARE™とは?

「sustainable (持続可能な)」+「healthcare (健康管理)」の造語です。本事業の支援拠点となる「ヘルスケア産業支援室」が一定した品質の製品づくりを「維持・継続」できる場となり、また利用者が親しみやすいよう、呼称を考案しました。



化粧品を中心としたヘルスケア製品開発をトータルサポートします

お客さまが開発する製品の「価値をみせる」ための評価体制を整えて、製品化・事業化を支援します。



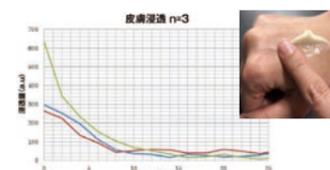
導入機器例

in vivo 共焦点ラマン分光装置

どんな装置?
皮膚内部に存在する成分量を生体のまま測定できる



何ができる?
塗布した化粧品の皮膚への浸透性や深度を評価できる

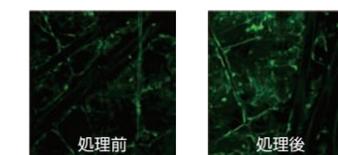


in vivo 共焦点レーザー顕微鏡

どんな装置?
組織を細胞レベルで、生体のまま観察できる



何ができる?
皮膚に塗布した化粧品の効果を細胞レベルで確認できる



蛍光物質の細胞への浸透

SPFアナライザー

何ができる?
SPFおよびPAを測定できる



毛髪強度試験機

何ができる?
毛髪の強度が測定できる



※画像はメーカー提供資料、カタログより抜粋

内容 講演① 化粧品の開発動向と感性アプローチによる技術開発
花王株式会社 スキンケア研究所 室長 須加 基昭 氏
講演② 化粧品の効能を測定するー近年の皮膚特性の評価手法ー
エムティーコンサルティング 代表 高橋 元次 氏
講演③ 世界に羽ばたく日本の化粧品技術 "その底力の秘密"
武庫川女子大学 薬学部 客員教授 神田 不二宏 氏

申込方法 都産技研ウェブサイトより
<https://www.iri-tokyo.jp/site/bio/suscare.html>

